10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 （四国）	◎	－	－	－
	○	一般小売店［生花］（経営者）	お客様の様子	・年末イベントにおける贈答品等への関心が高まっており、予約や購入が増加している。また、店舗の新装開店が増加し、開店祝いの需要も増加している。
	○	一般小売店［書籍］（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は前年並みだったが、外商売上が好調だったため、全体で前年を上回った。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・インバウンドが若干増加した。景気は少しずつ良くなるとみられる。
	○	その他小売［ショッピングセンター］（館長）	来客数の動き	・10月の入館者数は前年比115％の状況であり、好調であった。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・様々な商品の価格が上昇したが、客は慣れてきたようにみえる。高価格の飲食店についても、客数は減少していない。
	○	観光遊園地（主幹）	来客数の動き	・前年同月と比べて、来客数は増加している。
	□	商店街（代表者）	それ以外	・川をいかしたまちづくりの推進により、川沿いに並ぶ屋台がアーケード街まで広がってきた。新たな方向性が見えてきている。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・観光客やインバウンドを含め、来客数は増加した。しかしながら、地元客を中心に、生活防衛のための節約志向が高まっている。
	□	商店街（常務理事）	来客数の動き	・物価上昇により物の消費が伸び悩むなか、体験価値を重視した消費の需要が大きな柱となっている。
	□	一般小売店［文具店］（経営者）	販売量の動き	・２～３か月前と比べると販売価格は落ち着いている。来客数はわずかに減少したものの、例年並みの推移である。
	□	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気温の低下に伴い季節商材の売上は増加している。また、高額品や催事が堅調な一方で、物価上昇による生活防衛意識から日常の買い回りは慎重である。全体としては３か月前と同水準で推移している。
	□	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・販売量は減少したものの、商品単価は上昇した。また、物価上昇の影響により、商品購入にはメリハリがあり、個人差も大きくなった。
	□	スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合他社の大規模な販売促進施策により、来客数は減少しているが、一時的なものとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・前年と比較すると、米の価格は大幅に低下しているが、農作物の価格は天候の影響により大幅に上昇している。他の商品の価格上昇を含めると、全体では販売価格は高くなっており、客は少しでも安く販売されている業態で購入する傾向にある。
	□	スーパー（統括担当）	販売量の動き	・買い控えの傾向は変わらない。
	□	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・来客数が若干減少したものの、特に１品単価の大幅な上昇によって、売上は増加傾向にある。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は、天候の影響により若干減少した。
	□	家電量販店（副店長）	来客数の動き	・2027年度末の蛍光灯製造終了に伴う需要で、照明器具の販売は前年比114％と増加している。また、新型機種の発売によりスマートフォン売上は前年比118％の状況であるが、冷蔵庫や洗濯機の売上は減少している。
	□	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて、客単価は上昇し、客数も増加している。行政によるイベント開催効果と、それぞれの施設の施策が良い結果につながっている。
	□	タクシー運転手	お客様の様子	・車の稼働率は平日が30％、週末が40％程度である。現在の稼働率で客の送迎が賄えている状況であり、客の移動の需要は減少している。

	□	通信会社（営業部長）	来客数の動き	・来客数は販売エリアによって増減はあるものの、全体としてはほぼ横ばいである。販売量に大きな変化はない。
	□	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築資材の価格は、高止まりが続いている。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・物価の上昇が日々の生活を圧迫しており、客の遊興費が減少している。少しでも無駄遣いを減らそうという気持ちから、客の消費行動が消極的である。
	▲	一般小売店［鞄］（経営者）	お客様の様子	・物価の上昇によって客の購買意欲は低下しており、買上点数が減少している。
	▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・物価の上昇により、芳しくない。節約志向がより一層高まるとみられる。
	▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・売上は前年とほぼ同じだが、来客数は減少し、客単価の上昇により補っている。景気は悪くなっているとみられる。
	▲	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・天候不良や輸入品の値上げなどにより、野菜をはじめ、商品価格が高止まりしている。また、米の市場価格は下がっているが、商品価格への転嫁が遅れており、値下げの時期が不透明である。
	▲	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・販売量は、前年と比べ10%以上減少している。購入金額を抑えようとする客が増加している。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・多くの商品が値上がりしており、下見や見積り止まりの件数が増加している。
	▲	乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・業況が芳しくない客や会社が増加している。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・車両価格や金利の上昇が、車の購入の大きな負担となっている。そのため、買換えに慎重な客が増加している。
	▲	その他専門店［酒］（経営者）	来客数の動き	・10月初旬の地方祭終了後は、売上が減少している。
	▲	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宴会需要が減少した。国際情勢の不透明さや、企業へのサイバー攻撃等、心理的不安要素が高まっているため、慎重になっているとみられる。
	▲	旅行代理店（部長）	販売量の動き	・原材料価格やエネルギーコストの上昇、また賃上げ対応に伴う人件費の増加等が懸念される。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・物価の上昇が生活を圧迫しているといった声が多く聞かれる。
	×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・客単価は上昇しているが、来客数は大幅に減少している。客は家計の状況が厳しくなっており、低価格の業態で購入しているとみられる。
	×	コンビニ（総務）	販売量の動き	・３か月前と比較すると、売上は前年と比べて低下している。来客数は前年比で減少しており、客単価の上昇により一定の売上を確保している状況である。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・来店頻度が低下している。生活必需品の価格上昇によって、ぜいたくと判断する消費を抑えているとみられる。
企業動向関連 （四国）	◎	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年は閑散期であるが、今年は順調に発注が入っている。インバウンドを中心とした観光客向けの小売店は、全国的に販売が増加しており、売上増加につながっている。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・10月は天候に恵まれ、受注が回復した。
	○	通信業（総務担当）	それ以外	・週末のイベントへの参加者が、前回と比べて130%に増加した。
	□	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・特に変わりはない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・物価の上昇や電気料金の値上げにより、採算が合わない。物価の上昇が景気に大きく影響している。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備投資は堅調に推移しているものの、住宅の買い控えは続いている。
	□	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大きな変化は感じない。

	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・客の受注状況等に大きな変化はみられない。
	▲	化学工業（所長）	競争相手の様子	・競合先において、低価格を武器に受注を確保しようとする動きが顕著であり、防戦している状況である。全体での景気は悪いとみられる。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業が少ないため、競争が厳しく、なかなか受注に結び付かない。
	▲	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・成約に至らない商談が増加している。売主、買主共に慎重で、様子見が多い。
	▲	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格の上昇に見合った販売価格への転嫁が、十分ではない。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・物価の上昇によって経費が増加しているが、販売価格へ転嫁できていないため、状況は悪くなってきている。
	×	－	－	－
雇用関連 （四国）	◎	－	－	－
	○	－	－	－
	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	採用者数の動き	・人材の不足感はあるが、費用面で採用に至らない。
	□	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・求職者数の増加が、業界の景気を左右する。
	□	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・全国平均を上回る求人倍率が維持されているものの、周辺企業の求人数はやや減少している。サービス業や運輸業、製造業、建設業などでは求人数がやや増加しており、業種による偏りが大きい。
	□	新聞社［求人広告］（担当者）	周辺企業の様子	・イベントの影響で好転しているという話もあるが、効果は限定的であり、厳しい状態の企業も多い。総合的に変わらないとみられる。
	□	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・大手で中東情勢の影響が少ない企業は、業績の改善がみられるが、小さな企業では相変わらず厳しい状態である。商品の値上げが続き、なかなか利益が増加しないという企業が多く、厳しい状態が続くとみられる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・全体的に大きな変化はないが、事務関係の求人については減少傾向にある。
	▲	－	－	－
	×	－	－	－